

糊塗を以て、国家経済破壊の内面を國民の眼から覆はんとして居る。未だに底知れぬ不景氣の深刻化に倒産する中小工商と、失業者の激化に悩む政府は、非常時内閣の名称のみにて、何等実体的手段を講ずる事は出来ない。

今や國民は國家經濟の破壊を直視し、一層の不安は反資本的意識を強めつゝある。最近に至り、内外の情勢重大なるにも関せず、労働争議、小作争議は特に尖鋭化して、労働階級は今や、其の使命を体得して居る。

國家の根本的改訂が、労働階級に國民全体の闘争を煽らすものとなり、事を克明に知つた。

今や滿洲國の独立は宣言せられ日本の労働者の使命は益々重要性を加へつゝあることを直感する。

かゝる労働階級の立場におひける、その金融財閥階級は凡ゆる反動政策の執行を盡して、労働組合の結束を妨害する。此の弾圧こそは、あらゆる方面に浸潤し、或は政治的に、警察権に、單独に眠るが、攻圧となつて現はれて居る。

かくの如き情勢下に立つ、組織労働運動の中堅としての我々が總聯合にあっては、刻下の主要なる闘争題目として左の如く規定する。

一 資本の攻勢の先端を勤める彈圧政策との徹底的抗爭

二 失業防止並に救済の徹底

三 政府の欺瞞的政策の暴露

四 強力なる組合戦線の統一

五 労働組合法の獲得

以上は過去に於ける我等の最大の関心事項であつたが、更にそれ等の重要性を新に意義付け、彼々の来る可き一年間の闘争力を茲に集中して目的の實現のため、且つは我が日本労働組合總聯合の光輝ある傳統と使命とを再考がぶらしめんことを誓ふものである。